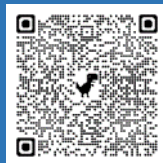


よいや～の風について



学校だより
の以前の号
はこちら←



——令和8年2月16日(月) No.31——校長 東原 宏章——

「第6回 放課後子ども教室(むかしあそび)」

2月9日(月)に「第6回 放課後子ども教室」が開催されました。今回は昔遊び。約30名の児童が参加しました。



こま回し



けん玉

子どもたちは 15 分ごとに交代しながら様々な遊びを楽しみました。

こま回しやけん玉は上手にできるまでに時間がかかりました。しかし、高城台校区地域コミュニティ連絡協議会の皆様やスタッフの保護者の皆様からアドバイスをいただき、上達していきました。あちらこちらから子どもたちの歓声が上がりました。



かるた

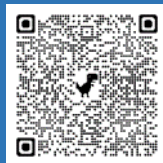


すごろく

高城台校区地域コミュニティ連絡協議会の皆様やスタッフの保護者の皆様、企画や事前準備、大変お世話になりました。そして、当日の運営、誠にありがとうございました。



よいや～の風によって



学校だより
の以前の号
はこちら→



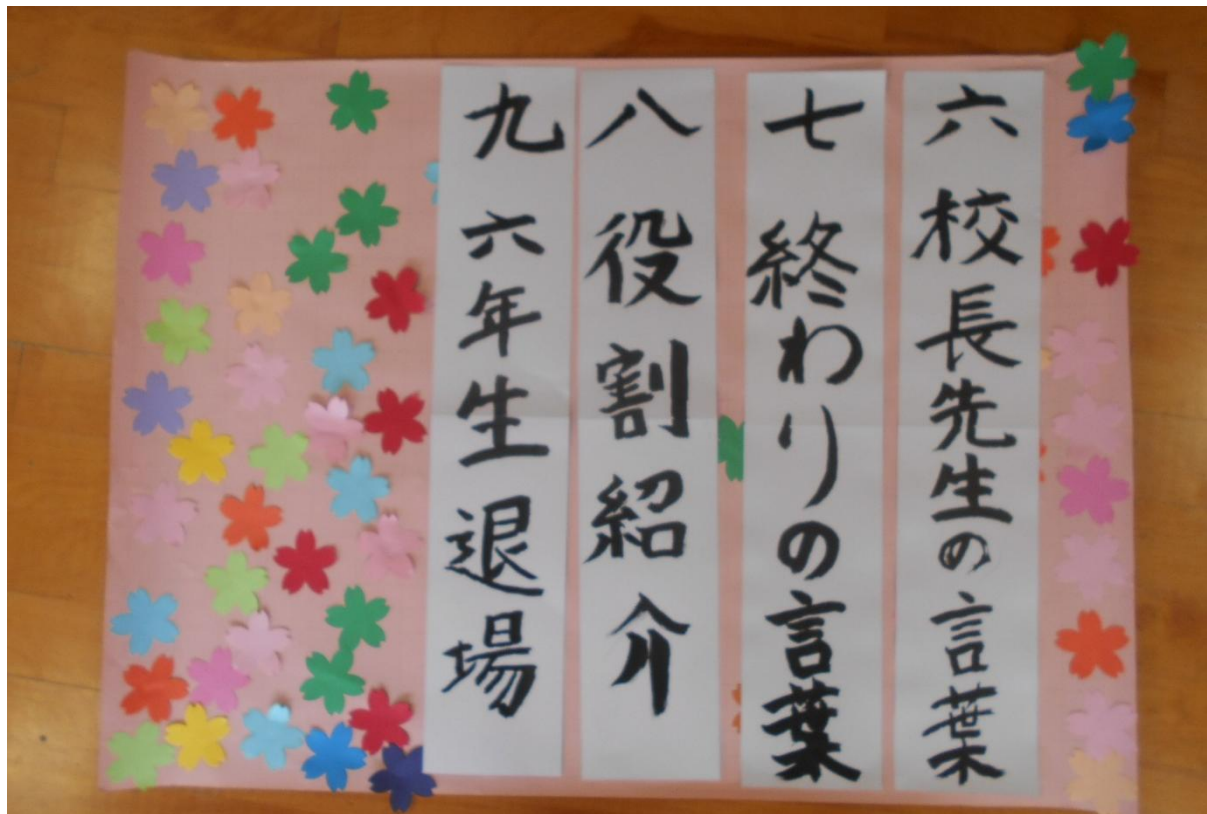
——令和8年3月2日（火）No.32——校長 東原 宏章——

「 近づく わかれのとき 」

3月18日（水）の卒業式に向けて、学校全体が動き始めています。



これは卒業式練習に臨む6年生の様子です。背筋が伸び、6年担任を注目する姿から真剣さが伝わってきます。



こちらは、3月3日(火)に開催予定の「6年生を送る会」のプログラムの一部です。プログラム作成担当は4年生です。4年生に限らず、すべての学年が何らかの役割を分担し、「6年生をおくる会」の準備を進めてきました。もちろん、それぞれの学年が、6年生には内緒で「出し物」の準備や練習も進めてきました。

下の画像は、児童玄関横の掲示板に掲載される私たち教師からのメッセージ(3月版)です。

これまで学校のリーダーとして動き、努力を積み重ねてきた6年生のためにと、学校全体が動いています。

ろくねんせい
六年生のみなさん

ご卒業おめでとうございます。

であ
出逢い

せき
関 洋子

あなたに 出逢えてよかった

しみじみとそうおもう

あなたに 出逢えてよかった

ありがとう

ありがとう

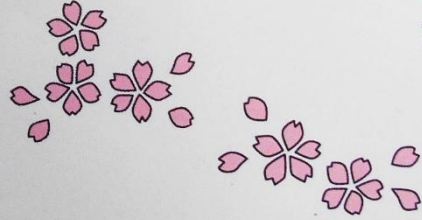
すべてのふりかえる道が

この道へ 続いていただとおもえる日は

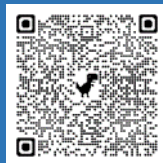
こころが なんとでもくりかえす

ありがとう

ありがとう



よいや～の風について



学校だより
の以前の号
はこちら→



——令和8年3月5日（木）No.33——校長 東原 宏章——

「愛されている6年生」

3月3日（火）の2・3校時に全校児童参加の「6年生を送る会」が開催されました。

3月18日（水）に行われる卒業式に、卒業生の他に出席できるのは5年生だけです。1年生から4年生にとっては、6年生に対する感謝や励ましの気持ちを伝えることができるのは、この「6年生を送る会」だけです。

それぞれの学年が趣向を凝らした出し物で、6年生への尊敬の念を伝えました。どの学年の出し物も、しっかりとした準備と練習の跡が見えました。



6年生入場

1年生は、歌とダンスと言葉で、ペアとして支えてくれた6年生に感謝の思いを伝えました。



1年生の出し物

2年生は、某国民的男性アイドルグループのダンスと言葉で、6年生が「カリスマ的」存在であったことを称えました。



2年生の出し物

3年生は某正統派ロックンロールバンドの歌と言葉で、不可能を可能にしてきた6年生を称え、中学校でも「できっこないを やらなくちゃ」とエールを送りました。



4年生は、「無限城・卒業阻止編」と題した寸劇を披露しました。4年生扮する鬼が、挨拶・廊下歩行自慢の6年生に戦いを挑み、破れ、最後は卒業を祝い、送り出すという展開でした。



5年生は、5年生全員が「応援団」となり、3・3・7拍子などのエールに乗せて、これまでの6年生の努力と工夫を称え、力強く「卒業おめでとう」のエールを送りました。

もちろん、「次は私たちの番です。任せてください。」という思いも込めながら。



5年生の出し物

6年生は、一人一人が自分とペアだった1年生の名前を呼び、1年生と手を振り合いました。そして、「旅立ちの日」の合唱を披露しました。その美しく、力強い歌声には、在校生への感謝の気持ちがこめられていました。幾ばくかの寂しさも見え隠れしていました。



6年生の出し物

【各学年の役割】

1年生…はじめ・終わりの言葉

2年生…ステージの飾り付け

3年生…題字作成

4年生…プログラム作成

5年生…花のアーチ・会場後片付け・引継ぎ式担当

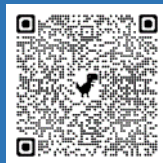
皆で準備して、役割を分担して迎えた本番。笑いあり、ジーンと胸に迫る場面ありと、6年生への尊敬の念を皆で共有できた会でした。

「6年生は、在校生や教職員に愛されているなあ。」

「愛されるくらいに頑張ってきたのだなあ。」

と実感したひと時でした。

よいや～の風にのって



学校だよりの
以前の号
はこちら←



——令和8年3月12日（木）No.34——校長 東原 宏章——

「 歌声とまなざし 」

昨日（3月11日）に卒業式予行練習を行いました。
3月18日（水）に行う卒業式に、卒業生の他に出席できるのは5年生だけです。ですから、予行練習には、5・6年生児童と全教職員が参加しました。

5・6年生の歌声が体育館いっぱいに響きました。その懸命さに胸を打たれました。

伴奏の音が聞こえないほどの歌声で、急遽、伴奏の音量を上げることになりました。

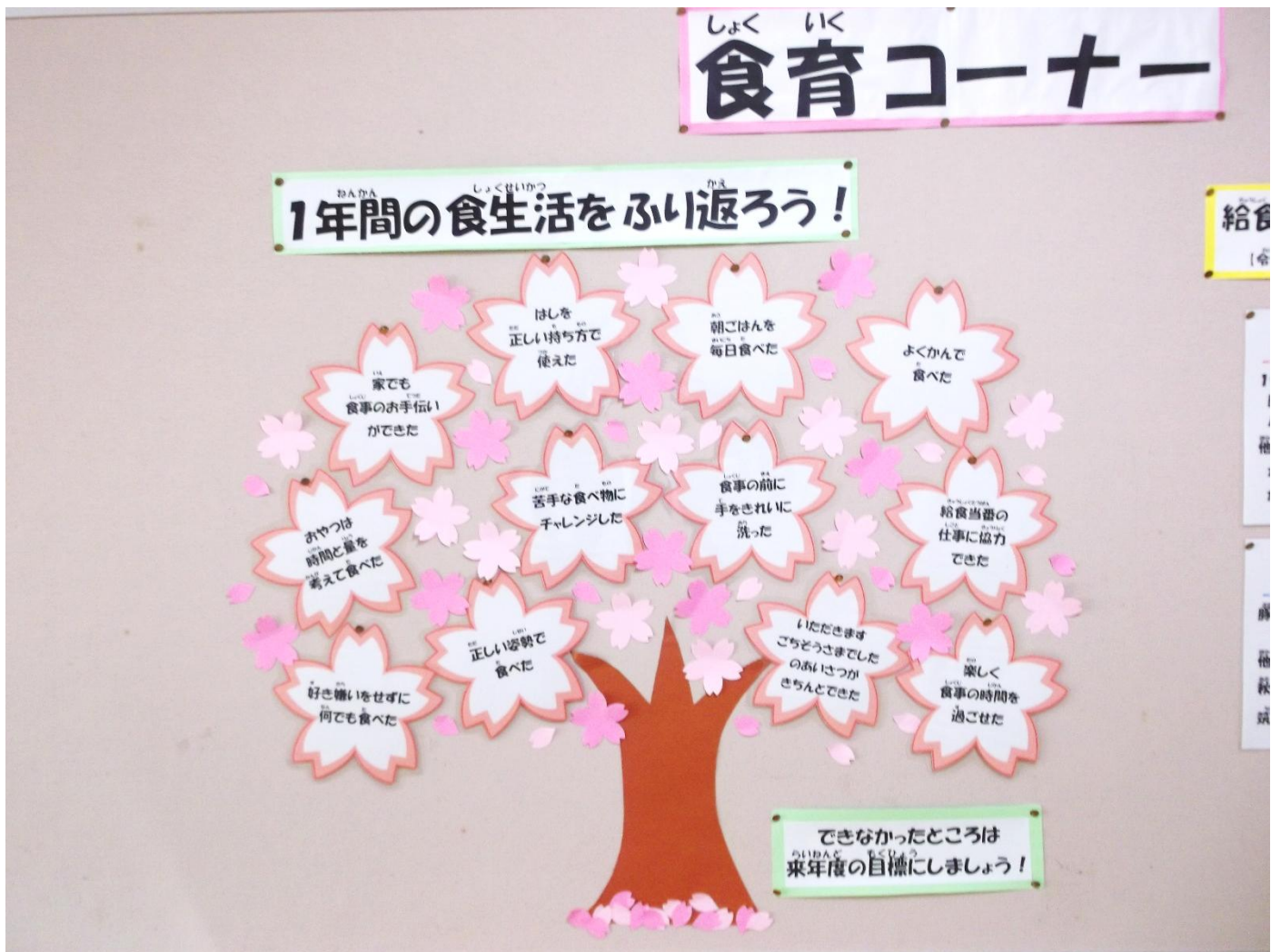
卒業証書授与も本番どおりに行いました。私から6年生一人一人に証書を手渡しました。ステージ上で、私と向き合ったときの6年生の真剣なまなざしに、それぞれが抱いている強い意志を感じました。

校内は、廊下も階段も、6年生をお祝いする掲示物でい

っぱいです。東長崎中学校の生徒保健部からのメッセージも届いています。東長崎中学校の皆さん、ありがとうございました。









高城台小学校 6年生のみなさんへ

① 小学校と中学校の違い

- ・テストの難しさと回数
- ・制服
- ・シャーペンOK
- ・忙しい
- ・校則がある
- ・授業が長い
- ・テストの問題数
- ・テストの順位がでる
- ・学習会がある
- ・部活がある
- ・クラスが多い
- ・教科で先生が変わる
- ・2分前着席・1分間黙想

② 中学校生活で楽しかったこと、がんばったこと

- ・行事
- ・部活
- ・テスト
- ・パートリーダー
- ・先輩との関係
- ・勉強
- ・時間を守ること
- ・友達と関わること
- ・友達を助けること
- ・選挙活動
- ・ワークを早く終わらせること

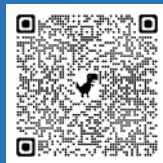
③ 中学校生活で大変だったこと

- | | | |
|------------|--------|------------|
| ・テスト勉強 | ・課題提出 | ・勉強とクラブの両立 |
| ・部活・テスト | ・友達作り | ・人との向き合い方 |
| ・食べる時間が短い | ・身だしなみ | ・暗記 |
| ・授業時間が50分間 | ・休活動 | |



東長崎中学校
生徒保健部

よいや~の風について



学校だより
の以前の号
はこちら←



——令和8年3月23日（月）No.35——校長 東原 宏章——

「得意を誰かのために」

3月18日（水）、第18回卒業証書授与式が行われました。



学校のリーダーとして活躍してきた卒業生の「よさ」は
沢山ありましたが、中でも次の3つが際立っていました。

「素直さ」

「思いやりの心」

「仲間と協力しようとする態度」

卒業生はこれらを発揮しながら、学校行事や委員会活動を牽引してきました。1年生の良きパートナーとして寄り添ってくれました。

さて、これまで子供たちを支えてくださった地域の皆様、皆様の御支援に心より感謝申し上げます。登下校での見守り、毎日の交通整理、輪っしょい祭り、矢上くんち、ピザ焼き、門松づくり、餅つきなど。本校の子供たちは地域の優しさの中で育ってきました。

卒業式の後には、各教室で最後の学級活動が行われました。卒業生が6年間の思い出を語っていました。各担任それぞれが思いを込めて、最後のメッセージを語っていました。





卒業生の保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまで本校の教育活動に御理解と御協力いただいたことに感謝申し上げます。

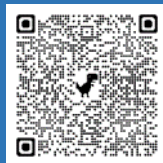
卒業生の皆さん、卒業おめでとう。中学校での活躍を応援していますよ。

あなたの「好き」を大切に育ててください。

その「好き」を「得意」へと伸ばしてください。

その「得意」を誰かのために役立ててください。

よいや~の風について



学校だより
の以前の号
はこちら←



——令和8年3月27日（金）No.36——校長 東原 宏章——
「修了式」

3月24日（水）、令和7年度修了式が行われました。
修了式では「チーム・チャレンジ・ルール」の言葉を鍵に
次のような話をしました。

【チームといえば4年生】

集団で遊ぶのが上手。他学級、他の学年まで仲間に入れる心の広さ、優しさがある。これからは多様化の時代、君たちはいろいろな国の人と一緒に働くようになる。その時、君たちが持つチーム力、心の広さはきっと役立つ。

【チームといえば3年生】

「高城くんち、わっしょい、わっしょい！」歴史を学んだ。家族が喜んでくれた。何よりも、君たちが学んだ。祭りは見るよりも担いだり踊ったりする方が断然面白いということ。一人よりも仲間や先生と一緒にの方が何倍も面白いということも。

【チャレンジといえば2年生】

授業中、よく手を挙げて、みんなの前で発表していた。文章を書く量も増えた。漢字の学習も一生懸命取り組んだ。2年生のノートを見ると、漢字をたくさん使っていることがわかる。コツコツと努力するチャレンジ精神に磨きがかかった。

【ルールといえば1年生】

1年生はルールを守る強い心の持ち主だ。

何といっても時間を守る。休み時間の終わりの5分前行動がしっかりできている。教室から給食室まで並んで歩く時もおしゃべりをしない、右側を歩く、頼もしい。新1年生の手本となるにちがいない。

【チーム、ルール、チャレンジの3つがそろった5年生】
毎日の宿題を頑張る、名札を付ける、ハンカチを持ってくる。これらをたくさんの人が守ってきた。目に見えにくいことを毎日地道に続ける人は、周りの人から信用され、信頼される。

目に見えるところも成長した。大勢の前で、大きな声で返事をしたり、歌ったりすることができる。果敢にチャレンジできる。5年生が一つの塊、大きなうねりとなって行動できる。卒業生がそうであったように、今に甘んじることなく、来年度は学校のリーダーとして活躍してほしい。

修了式の最後、校歌を歌う前に、全校児童を代表して
1年生児童2名が1年間の振り返りと次年度の抱負を話
してくれました。

1年生 Aさん

この1年で一ばんたのしかったことは秋えんそくです。ど
うしてかというと、かえり道に友だちとおしゃべりをしたの
がたのしかったからです。

つぎに、この1年でできるようになったことは、なわとびと
てつぼうです。とくに、なわとびでは、前とびや、こうさとび
ができるようになりました。

2年生では、やさしい2年生になりたいです。

1年生 Bさん

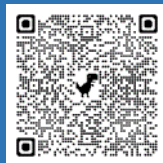
ぼくが、一ばんころにのこったことは、むかしあそびで
す。いろいろなあそびに ちょうせんしました。とくに、竹とん
ぼでは、名人さんから「竹とんぼをしっかりとって、手をよく
まわすといいよ。」とおしえてもらいました。そのとおりにす
ると、うまくとばせました。

じょうずになったことはマスけいさんです。はじめは1だ

んのマスからはじめて、さいごは100マスにちょうせんしました。なれると、あたまの中でのけいさんが、どんどん、じょうずになりました。2年生でも、けいさん名人になれるようにがんばります。

二人の発表は、この1年間でたくさんのができるようになった1年生を代表するものでした。頼もしい新2年生になってくれること、まちがいなしです。

よいや～の風について



学校だより
の以前の号
はこちら←



令和8年3月31日（火）No.37—校長 東原 宏章

「 お礼 」

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、この1年間、本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力いただき心より感謝申し上げます。

保護者の皆様や地域の皆様の誠意ある御対応や励ましのおかげで、全教職員が勇気づけられ、自信をもって子供たちと向き合うことができました。

保護者様からの御意見や御要望、御相談いただいたことに関しましては、必要に応じて長崎市教育委員会に報告して参りました。一方で、長崎市教育委員会から御助言いただいたことは、本校の教育活動に反映させ、改善を図って参りました。

次年度も教育活動の充実のため、長崎市教育委員会をはじめ、外部関係機関や近隣校・園との連携を深め、本校の教育活動に対して、保護者の皆様や地域の皆様の御協力を得られるように努めて参ります。次年度もよろしくお願いいたします。

今年度もPTA活動の一つであるベルマーク収集活動に御協力いただき、誠にありがとうございました。一輪車2台と交換いたしました。大切に使用いたします。



なお、本年度をもちまして、PTA 主導で行われてきたベルマーク収集活動を終了いたします。

これまで、お世話をしてくださったPTA 役員の皆様、御協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。